

ふじさわ・九条の会ニュース



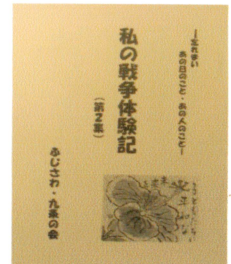
NO10

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斎藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

「私の戦争体験記」・第2集が 出来ました

—1部「100円」で配布中 希望者は事務局まで—



9月1日、昨年11月に続き、「私の戦争体験記」第2集を発行することが出来ました。今回は15名の方に執筆して頂きました。A5版42頁の小冊子です。

今回の作品の中には、自らの体験ばかりでなく、父や母、兄弟や祖父などから聞いた話を綴ってくださった方もありました。私どもは、こうした小冊子の発行を通して、再び戦争を引き起こさない為に、会員の皆さま方の悲惨な戦争体験や戦争で亡くなった方々の思い出、戦争時代の苦しい出来事などを、次の世代に伝えて行くことが何よりも大切だと考えます。

600冊印刷致しました。1部100円で、会員の皆さまに配布しております。「戦争体験記」の企画、編集、制作、印刷、製本は全部会員の手でやりましたので、かかった費用は紙代と市民活動推進センターの印刷機使用料程度で済みました。今回執筆頂いた方々のお名前とテーマは次のとおりです。



9月24日、発刊記念茶話会を行いました

- | | |
|-----------------------|-------|
| ① 特攻機で散った次兄の思い出 | 森本 玲子 |
| ② 嬉しかった平和憲法 | 安江 香代 |
| ③ 戦争に重なる顔 | 桑原 玲子 |
| ④ ヒロシマ六十年前の体験 | 佐藤 良生 |
| ⑤ 京急黄金町駅は運命の現場 | 荒木昭太郎 |
| ⑥ 私の憲法 | 金田富佐江 |
| ⑦ 祖父の戦争体験一聞き書き一 | 渡邊 愛 |
| ⑧ サイパン島からきた松本ヒロちゃんのこと | 熊崎勝弘 |
| ⑨ 乃木高等女学校から横河電機に学徒動員 | 匿名 |
| ⑩ 戦争中に何を食べたか | 庄司 羌子 |
| ⑪ 幻のコロネット作戦と軍国少女 | 芝 実生子 |

- | | |
|---------------------|-------|
| ⑫ 満州で現地召集された父とおじのこと | 小林麻須男 |
| ⑬ 戦争より生きて帰って | 矢口 仁也 |
| ⑭ 戦いやんで | 佐川 光郎 |
| ⑮ 九条を守ることは、終戦を守ること | 藤 臈 泡 |
- なお、冊子のカットの絵手紙を提供頂いた方々は、次の皆さんです。表紙—山崎正子 目次—梅原麦子 本文—家永幸子 野口千代美 岩田圭子 渡辺王子 吹越政子

執筆者を招待して

発刊記念茶話会開く

9月24日、執筆して頂いた方を招待し、発刊記念茶話会を開きました。安江さん、桑原さん、佐川さん、佐藤さん、荒木さんご夫妻が出席して下さいました。そして、執筆していただいた内容を更に深く話して頂くなど、話は尽きませんでした。皆さんも、是非第2集をお読み頂き、戦争の悲惨さ、平和の尊さを今一度かみしめてみて下さい。

平和学習

子供達と一緒に 長崎の平和式典に 参加して 永田陽子



8月7日～10日までの4日間、藤沢市の小学生20人、中学生17人、高校生3人計40人とともに、長

崎の平和式典に参加してきました。

引率者は5名、事前学習の3日間で、団旗を作り、原爆に関するいろいろな事を学習し見学コースを決めたりして参加しました。準備期間の3日間は縦割りで各学校ほぼ1名ずつの参加で、小5～高3まで全員初顔あわせで、グループのまとまりに大きな役割を果たしました。

長崎に着いた1日目は、稲佐山、大浦天主堂、グラバー園などの歴史ゾーンを見学、2日目は、グループ毎に平和ゾーンの見学をしました。ここでは、平和案内人（ボランティア）の説明を受けながらの見学でした。平和ゾーンと言っても、すべて原爆被害地跡で、当時の生々しい状況がそのまま残されているところが殆どでした。午後は、青少年「ピースフォーラム」で被曝体験講話を聞き、参加者全員が30のグループに分かれ、高校生のボランティアを中心に平和に関する意見交換を行いました。

3日目は、平和記念式典に参加。暑い暑い中、1時間半待機し、長崎市長、安倍首相の話の聞きました。被曝体験者のお話を聞いた時には涙を流している子どももいました。昼からはまた、「ピースフォーラムⅡ」で班毎の「平和宣言文」を作り発表。積極的に発表したがる子ども達にはビックリしました。4時から、班毎に自由行動で、やっと解放された感じで、子供達が企画した場所を地図をたよりに町の人に聞きながら見て歩き、眼鏡橋付近では川辺に降りて小魚やザリガニを見つけて歓声を上げているのを見て、私の心も熱くなりました。



ピースフォーラムで平和宣言文を作る子どもたち

この4日間、子供達や私にとって、充実したかけがえの無い日々でした。

最後に、子供達が、永井博士の如己堂で頂いたメッセージの中から、子ども達が読んで選んだ言葉を記しておきたいと思います。

「戦争は愚かなことだ！ 戦争には勝ちも負けもない。あるのは滅びだけである！ 人間は戦争をするために生まれたのではなかった！ 戦争はこりごりだ！ 平和を！ 永久平和を！ この叫びを私はひろく伝えたかった。」 永井博士のメッセージを読んで、子どもたちは言いました「原子爆弾は長崎でおしまい。長崎がピリオド」と。

良かった参議院選挙の結果 改憲勢力後退

先の参議院選挙で三年後の改憲を目指した自民党が大敗しました。自民党は、参議院選挙のマニフェストの一番最初に改憲を掲げましたが、今回の選挙結果は「憲法九条改悪ノー」の国民の意思が示されたものと思います。

参議院選挙の敗北にもかかわらず、選挙1ヶ月後まで安倍首相は、居座りを計りましたが、国会の会期中に、突然、政権を放り出して退陣しました。結局、安倍首相といえども、参議院選挙で示された国民の声に逆らうことはできなかったということでしょう。

しかし、これで憲法改正の動きが終息したわけではありません。引き続き、多くの市民、様々な戦争体験をされた方々と共に手を携え、憲法九条と平和を守る運動を一層強めて行かなければならないと思います。 (K)

8月～9月の 9の日行動

8月～小田急片瀬江ノ島駅

「江ノ電沿線九条の会」の方々の参加も得て22名が参加。8月9日は「長崎の日」でもあり、藤沢原水協の方々もパネルを欄干に取り付け、一緒に行動してくれた。ちょうど、防衛大臣が「長崎への原爆投下は、しょうがない」発言があつて間もないこともあつてか、水着姿の若い人たちもチラシを受けってくれた。



8・9江の島 水着姿で署名に協力

9月～辻堂駅北口

台風の去った秋晴れ！！ とはいっても残暑。暑い中のチラシ配布。今回は「明治地域九条の会」・「大庭九条の会」・「辻堂文化九条の会」の参加も得て22名。今回のチラシは簡単明快な葉の形式。藤沢に比べると通行人は少ないが、「しおり」なので手渡し易くて1時間15分で完配しました。



9・9辻堂 ビラを受け取る若い女性

映画『GAMA 月桃の花』の感想文から

—若い人も考えています



—平和について—

「私たち若い世代の人たちは、これからもずっとこのような豊かな生活が続くと思ひ込んでしまっています。でも、今日本では憲法改正、つまり9条改正の話が着々と進んでいます。9条が改正されてしまったら、日本には軍隊ができてしまいます。軍を持つことになったらいつ戦争が始まってもおかしくない状況になってしまいます。そんなことになったら、絶対に、日本にとっても世界にとってもいけないと思います。」中学3年のAさんは『GAMA 月桃の花』の映画をお母さんと6年生の妹さんと一緒に観たあとの感想用紙にこのように書いてくれました。

『月桃の花』は沖縄戦50周年の記念映画として、沖縄県民の平和への顔いを込めて作られた作品です。しかし今、日本政府は集団自決に日本軍の強制はなかった、として歴史を捻じ曲げようとしています。そんな情勢のなか8月に上映会は行われました。

小6の妹さんも「このごろの憲法改正についてのニュースなどで出てくる総理大臣や他の大臣、そんな人たちは戦争が起きるとどれくらい悲惨なことがおきるか知った上で言っているのだろうかと思いました。戦争で平和になることはないと思ひました。」と小学生とは思えないくらいしっかりとした意見を書いてくれました。

この姉妹のお母さんも「戦争を知らないからこそ、目をそむけてはいけないとい感じました。人間ひとりの命の尊さを思ったら、それが分かっているなら、戦争などできるはずがありません。」と力強く語ってくれました。若い人たちと憲法9条や平和について考えていかれたらうれしいです。若い人から勇気と力をもらいました。

(折原記)

8月15日

ふじさわ・不戦の誓い平和行動



サンパール広場での宣伝行動

2007年8月15日も62年前と同じく暑い夏の日差しでした。「今日、8月15日は終戦記念日です。もう、これで戦争は終わらせると誓い合う日です。」と炎天下、不戦と平和を熱い思いで訴えました。今年も60余名の方が参加してくださいました。議員（元議員を含めて）や実行委員の植木さんをはじめ民主党・共産党・社民党・ネットの方が、行動に参加した市民と一緒に不戦を訴えました。

新しいステッカー出来る グッズ担当制作



かねてから、憲法九条の大切さを訴え、ふじさわ・九条の会をアピール出来るようなステッカーが欲しいという希望が出されておりましたが、この程、グッズ担当の皆さんの努力によって、写真の様な綺麗なステッカーができあがりました。ファイルに張ったり、鞆に張ったり、自転車や車に張ったりすることが出来るように、1シートに、大・中・小3組入ったステッカーとなっております。1000枚印刷し、1シート100円で販売することにしました。是非、活用して下さい。

ー テロ特措法の核心 ー 集团的自衛権問題について 10・26秋の学習会

テーマ 「憲法・米軍そして集团的自衛権」
講師 梅林宏道さん
日時 10月26日午後6時30分～
場所 藤沢市民会館第2展示ホール
資料代 500円

安倍前首相は、肝いり懇談会を作り、集团的自衛権を合憲と解釈させ、憲法改正する前に自衛隊の海外派遣が出来るようにしようと狙いました。しかし、参議院選挙での大敗、自らの政権投げ出しで、この問題は頓挫したかに見えますが、テロ特措法の延長という形で国会で審議されようとしています。

今回、この道の専門家である、梅林先生に来て頂き、集团的自衛権問題を中心に、じっくり話して貰うことにしました。多くの皆様のご参加をお待ちします。

＜事務局だより＞

一 当面の日程 一

- 10月9日 10月の「9の日行動」
藤沢サンパール広場
15時～16時30分
- 10月10日 事務局会議 18時30分～
- 10月14日 健康まつり参加、10時～
ふじ公園
- 10月22日 世話人会 18時30分～
- 10月26日 秋の学習会（上記）
- 11月 2日 鎌倉九条の会
アーサービナード・井上ひさし対談集会
鎌倉芸術館 18時30分～
- 11月24日 九条の会第2回全国交流集会
東京・日本教育会館
- 11月26日 11・26九条inかながわ
- 12月15日 地域九条の会との交流会